

従来施工から情報化施工へ

MCによる敷均し

従来施工

設計図から丁張り設置



丁張りを目安に施工



丁張りを目安に検測



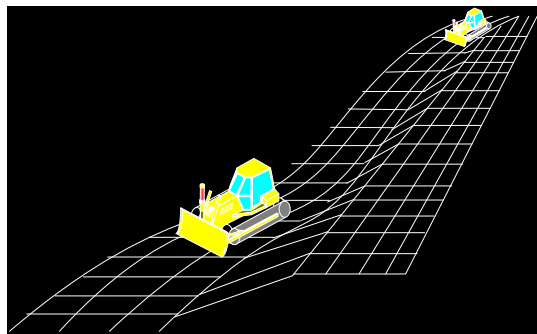
繰返す

仕上がりは、オペレータの技量に依存

施工後の高さをcm単位で計測しオペレータに指示

情報化施工

設計図を現場に再現



施工用丁張り不要

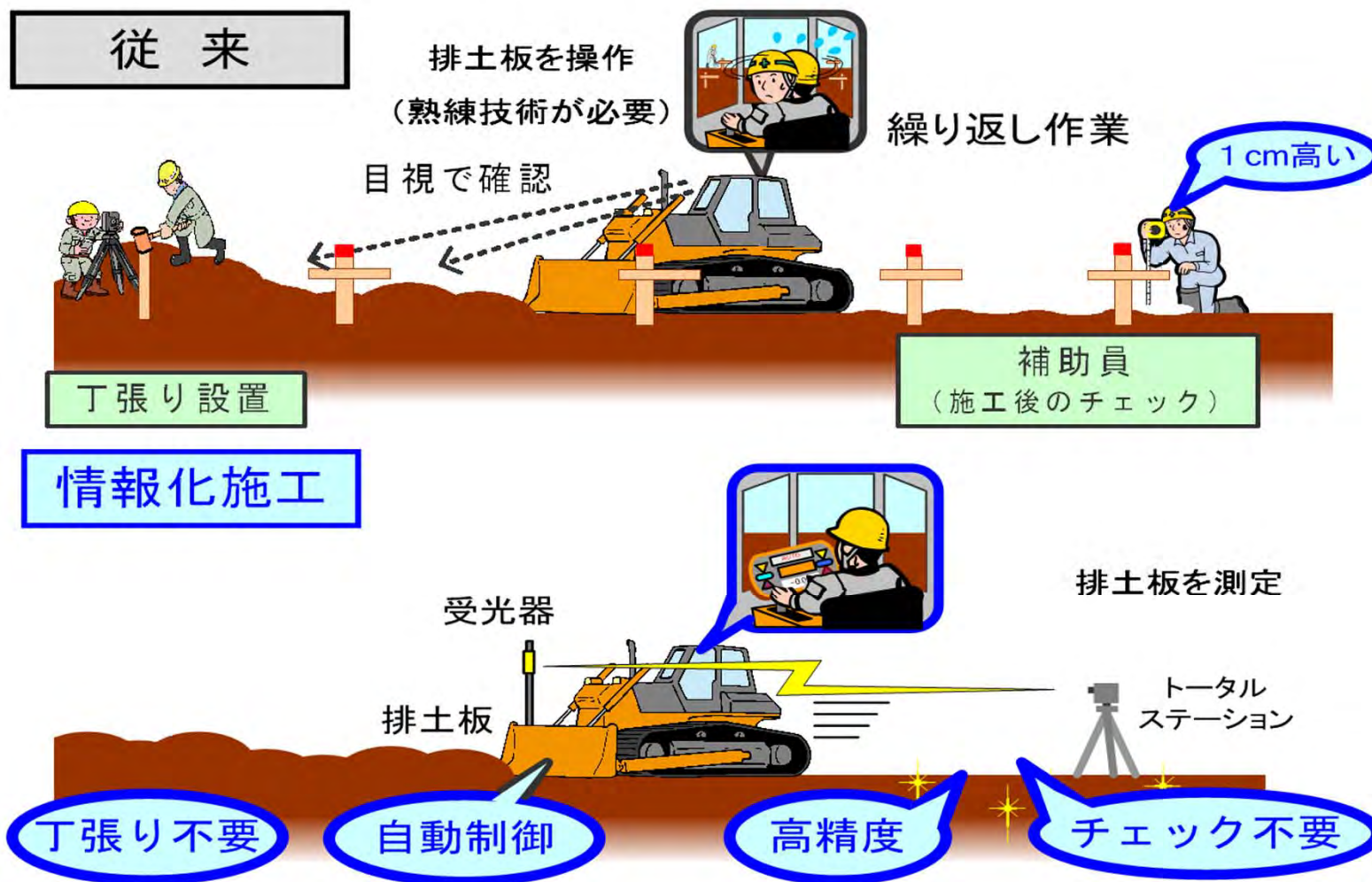
オペに頼らず
排土板を自動制御
繰返回数も減少

検測も減少



- 作業の効率化

オペレータの負担を減らし工期短縮や省人化



- 施工品質確保(夜間作業でも同等品質確保)
24時間施工での信頼性



岩手県 花巻空港滑走路延長工事
―夜間工事―

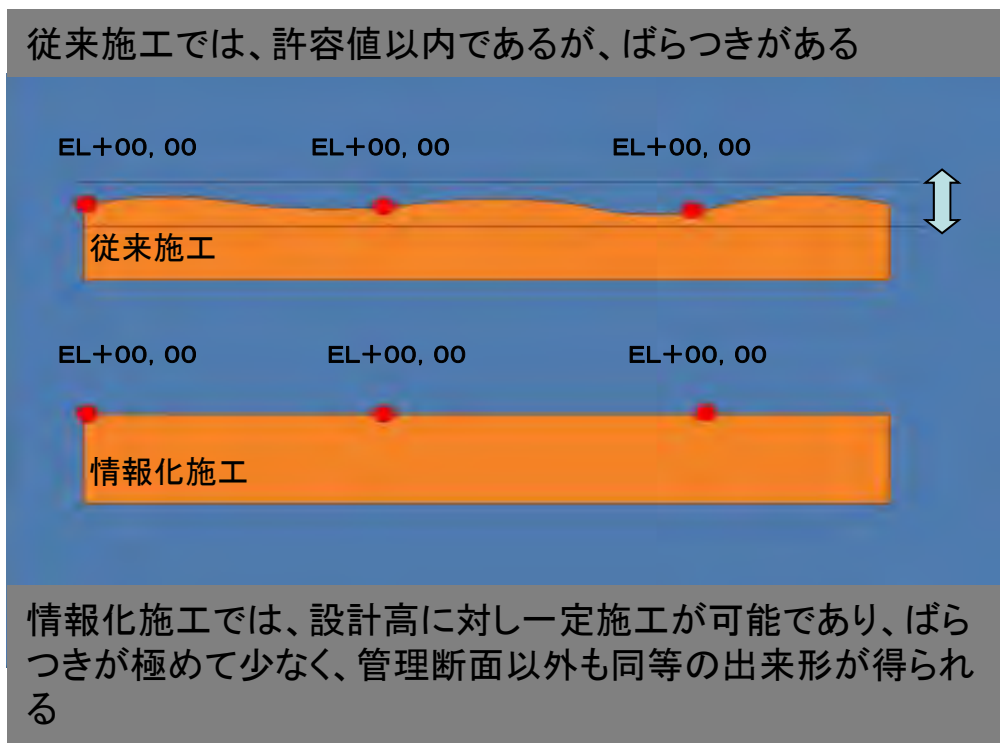


トータルステーションの設置



ブレード周辺の状態

- 施工品質確保（信頼性の向上）
仕上げ精度の向上により手戻りの大幅な減少



敷均しのラップ部分、材料がほとんど掻き出されないレベルの精度で施工できる

- ・垂直精度検測箇所の80%以上で±10mm以下（路盤・MCグレーダー）